

出前授業レポート

「体験を通して、昔の人々の生活の様子を知ることができました。」

藤枝市立葉梨西北小学校の6年生12人が、体験を通して、土器の分類の仕方や火の起こし方を学ぶことを目的に、土器の分類・火起こしの2つの体験を行いました。

土器の分類体験

既に、歴史の授業が奈良時代まで進んでいたこともあり、縄文土器や弥生土器のことはある程度分かっていたので、あまり説明をせずに分類作業をしました。分類に悩んだときは完形土器をよく見て比べることで分けることができました。

須恵器を初めて見た子どもたちは、縄文土器や弥生土器にはない特徴を捉え、作り方に違いがあることを知り納得していました。

既に、歴史の授業が奈良時代まで進んでいたこともあり、縄文土器や弥生土器のことはある程度分かっていたので、あまり説明をせずに分類作業をしました。分類に悩んだときは完形土器をよく見て比べることで分けることができました。



「縄文土器・弥生土器は知っていたけど、須恵器は初めて知った。」



火起こし体験



火起こしをテレビでは観ていても、実際にやったことがある子はいませんでした。簡単に説明した後、準備を進め弾み車を回し始めました。調子よく弾み車を回すことができ、火種をていねいに火口にのせ、ロングフーフタイムも上手にクリアし、着火！

途中で弾み車がうまく回せなくなると、2人で協力して回したり、長く息を吹きかけるのが上手くいかないときは友だちが替わって息を吹きかけたりして、全員が火を起こすことができました。

「とても大変だったけれど、全員火をつけることができてうれしかった。」



先生方の感想

「実際の体験を通して、昔の人々の生活の様子を知ることができました。土器の分類では正しく分類できるか、火起こしでは火をつけることができるかなど、子どもたちの興味を引きつける内容でした。土器の分類も火起こしも全員が体験できたことが良かったです。火起こし体験を日陰で行ってくださり助かりました。解説は、とても分かりやすく、子どもたちが満足していました。貴重な機会をありがとうございました。」

